

第18回海岸工学講演会<於札幌市>

▶ 10月28日(木)~29日(金) ◀

第18回海岸工学講演会は下記の日程により札幌市において北海道支部と共催で開催致しますので多数ご参加下さいますようご案内致します。なお、講演会論文集は目下編集中ですので10月中旬にでき上る予定です。

1. 期 日: 1971年10月28日(木)~29日(金)
2. 会 場: 第1会場 北海道自治会館自治ホール(札幌市北4条西6丁目・電 011-241-9111)
第2会場 北海道自治会館第1会議室()
3. 講演題目: 本誌第56巻第8号 117~119 ページ参照
4. 懇親会
 - (1) 期 日: 1971年10月28日(木) 18.00より
 - (2) 会 場: 北海道自治会館レストラン「ミカサ」
 - (3) 会 費: 2000円
 - (4) 定 員: 70名
5. シンポジウム:
 - (1) 期 日: 1971年10月30日(土) 9.00~12.00
会 場: 北海道自治会館4階中宴会場(白樺)
 - (2) テーマ: 漂砂に関するシンポジウム
 - (3) コンビナー: 北海道大学 尾崎 晃教授
 - (4) 話題および話題提供者:
 - ① 自然の漂砂現象—大阪大学 榎木 亨教授
 - ② 漂砂調査法—北海道大学 柏村正和教授
 - ③ 漂砂対策と構造物—建設省 豊島 修氏
 - (5) 定 員: 80名
6. 見学会:
 - (1) 期 日: 1971年10月30日(土) Aコース(苫小牧港見学) 9.00~16.30
Bコース(市内オリンピック施設見学) 13.00~16.40
 - (2) コース:
 - ① Aコース
9.30 テレビ塔集合・出発—苫小牧港—樽前山七合目—支笏湖—テレビ塔解散 17.00
 - ② Bコース
13.00 自治会館前集合・出発—(13.30) 地下鉄真駒内駅 (13.55)—(14.05) 真駒内スケート競技場(14.30)—(15.00) 大倉シャンツェ—(15.15)—手稲山スキー競技場 (16.00)—札幌大通公園解散 (16.40)
 - (3) 参加費: Aコース 1000円(バス・昼食代) Bコース 500円(バス代)
 - (4) 定 員: Aコース 50名 Bコース 50名
7. 申込方法: 懇親会、見学会に参加ご希望の方は氏名、勤務先、連絡先住所を明記のうえ、参加費を添えて10月9日(土)までに下記にお申込み下さい。定員がありますので早目にお申込み下さい。なお、参加者多数の場合の受付は着金の順になりますのでご了承下さい。また、講演会(10月28日~29日)および、シンポジウム(10月30日)の参加は自由(参加費無料)であることを申添えます。
8. 懇親会・見学会申込先: 郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目・土木学会海岸工学講演会係

第21回応用力学連合講演会 <於東京>

▶ 10月26日(火)~27日(水) ◀

標記講演会を土木学会ほか8団体の共催によって、下記のとおり開催します。

1. 期 日: 1971年10月26日(火)~27日(水)
2. 場 所: 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34, 電 (03) 403-6291 (代), 都バス7番四谷一品川間
南青山1丁目下車徒歩1分, 地下鉄銀座線 青山1丁目下車徒歩10分)
3. 講 演: a) シンポジウム 20題
b) 一般講演 103題
4. 講演論文抄録集: 予約頒価 2200円(予約に限り送料学会負担。なお、当日頒価 2500円)
5. 予約申込締切日: 9月23日(木) 必着(ご希望の方は代金を添えて土木学会総務課までお申込み下さい)

第18回風に関するシンポジウム講演募集

▶ 11月26日(金) ◀

標記シンポジウムを下記により開催致しますので講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1971年11月26日(金) 9.30~
2. 会 場: 気象庁講堂(予定)
東京都千代田区大手町 1-7 (電話 212-8341 代表)
地下鉄(東西線)竹橋, (丸の内線)大手町下車
3. 共催学会: 地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空宇宙学会・日本地理学会・日本林学会・日本農業気象学会(幹事学会)
4. 講演申込締切期日: 1971年9月16日(木)
5. 講演申込方法: 9月16日までに題目・講演者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)・勤務先・連絡先
・スライド・図面等の有無を明記し, 幹事学会(日本農業気象学会 東京都北区西ヶ原 2-1
農業技術研究所気象課内)または所属学会宛お申込み下さい。
6. 講演時間: 1講演15分~20分程度の予定です。
7. その他: シンポジウムの前刷集は作成致しませんので, ご了承下さい。なお講演者が各自プリントのうえ
会場に参加者へ配布されることは差し支えありません。
なお終了後懇親会を行ないますので多数ご出席下さい。

第8回衛生工学研究討論会論文募集

▶ 1月28日(金)~29日(土) ◀

土木学会衛生工学委員会は、下記の予定で研究討論会を実施しますので、論文提出者はお応募下さいますようご案内いたします。

1. 主 催: 土木学会衛生工学委員会
2. 期 日: 1972年1月28日(金), 29日(土)
3. 場 所: 土木学会土木図書館講堂(新宿区四谷1丁目無番地)
4. 論文内容: 本年度は自由題目といたします。
5. 申込方法: 10月15日までに講演原稿を土木学会衛生工学委員会までご提出下さい。なお原稿は学会指定の
オフセット原稿用紙(申込み次第送付)をご使用下さい。原稿枚数は8枚までとし, 期限を厳守
下さい。
昨年と同様, 討議論文1~2編を附して印刷いたします。特定の討議者をご希望の場合は, 希
望討議者氏名を同封して下さい。
6. 申 込 先: 土木学会衛生工学委員会(新宿区四谷1丁目)
7. 採 否: 論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。

第16回水理講演会講演募集

▶ 2月18日(金)~19日(土) ◀

第16回水理講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972年2月18日(金)~19日(土)
2. 会 場：発明会館(東京都港区西久保明舟町17番地・地下鉄虎ノ門下車徒歩3分)
3. 主 催：土木学会水理委員会
4. 課 題：A. 移動床流れの粗度と河床形状
B. 構造物周辺の流れ(局所流)
C. 流出解析(統計を含む)
5. 申込方法, その他：10月30日までに講演題目, 講演者氏名(連名の場合は登壇者に○をつける), 勤務先, 連絡先住所を明記のうえ, 土木学会水理委員会までお申込み下さい。折り返し当学会所定の原稿用紙をお送り致します。
なお, 講演の採否については, 水理委員会にご一任下さい。
6. 講演原稿締切期日：1971年12月11日(土)(厳守)

第7回岩盤力学に関するシンポジウム講演募集 ▶ 2月24日(木)~25日(金) ◀

第7回岩盤力学に関するシンポジウムを下記により開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972年2月24日(木)~25日(金)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
4. 講演申込要項：
 - (1) 内 容：岩盤力学に関する理論, 実験, 測定等(ダム, トンネル, 爆破等への応用例も含む)
 - (2) 講演申込締切期日：1971年10月30日(土)
 - (3) 申 込 先：郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目土木学会岩盤力学委員会
 - (4) 申 込 要 領：講演題目, 講演者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける), 勤務先, 連絡先を明記のうえ, 400字程度の内容梗概を付けてお申込み下さい。
 - (5) 講演原稿締切期日：1971年12月20日(月)
- 注 1. 講演時間は, 1件討議を含め30分程度です。
2. 講演の採否, その他については, 岩盤力学委員会にご一任下さい。
3. 講演概要はオフセット印刷と致しますため, 講演者には学会所定の様式にしたがって, 講演原稿を提出していただきます(1題目刷上和文4ページ(図表, 写真を含み6480字)および英文梗概1ページ以内)。

「構造物およびその構成要素の強度と安全性」に関する研究発表会

(第18回橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を本年度は標題のテーマにより, 下記のとおり開催致します。講演申込みを行ない採用通知のあった方は10月15日までに講演原稿の提出をお願いします。

1. 期 日：1971年12月3日(金)
2. 共 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目)

映画開催について <於土木学会講堂>

▶ 10月9日(土) ◀

1. 場 所: 土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)
2. 日 時: 毎月第2土曜日 14.00~10月9日(土)です。
3. 上映映画:
 - 「松原下釜ダム建設記録—総集編—」
 - 「常願寺川水系」
 - 「第三人工島」

なお、上映映画は都合により変更することがございますのであらかじめご了承ください。

4. 参加費: 無料, 土木関係以外の方も歓迎致します。

本映画会に関する問合せは 土木学会視聴教育委員会宛にお願い致します。(電 03(351)5130)。

第14回標準化全国大会

▶ 10月12日(火)~15日(金) ◀

1. 主 催: (財)日本規格協会
2. 後 援: 通商産業省, ほか 14 団体
3. 協 賛: 土木学会, ほか 35 団体
4. 開催期日・会場・定員:

	開催期日	会場	定員
第1日	1971年10月12日(火)	東京都千代田区大手町 1-5 農協ビル	800名
第2日	1971年10月13日(水)	〃	870名
第3日	1971年10月14日(木)	〃	870名
第4日	1971年10月15日(金)	東京近郊工場 20 工場見学会	800名

5. 参加料: 大会参加料(テキスト代含) 1名 1000円
工場見学参加料 1名 500円

なお、詳細は直接規格協会(東京都港区赤坂 4-1-24 電 03-583-8001)へお問い合わせ下さい。

岩の力学講演会 —有限要素法の地盤工学への応用問題点—

1. 主 催: 日本学術会議力学研究連絡委員会
2. 共 催: 土木学会, ほか 3 団体
3. 開催期日・時間・会場・定員:

開催期日	時間	会場	定員
1971年11月9日(金)	9.30~17.00	日本学術会議講堂	200名
1971年11月26日(金)	9.30~17.00	大阪科学技術センター	100名

4. 参加費: 一般 1500円, 学生 1000円(予稿集代を含む)
5. 申込先: 日本鉱業会 (東京都中央区銀座 8-5-4 電 03-572-5091(代))

PC構造物に強くなるための講習会

1. 主 催: (社)プレストレストコンクリート技術協会
2. 後 援: 土木学会
3. 開催期日・時間・会場:

開催期日	時間	会場
1971年11月26日(金)	9.00~17.00	東京都港区芝西久保明舟町 17 発明会館ホール
1971年11月30日(火)	9.00~17.00	大阪市西区靱 1-118 大阪科学技術センターホール(予定)

4. 参加料: 1名 1000円(テキスト代を含む)
5. 申込期間および申込方法: 1971年10月31日までに参加料(現金書留)を添えて下記へ申込み。
6. 申込先: 〒104 東京都中央区銀座 2-12-4 銀麗ビル
プレストレストコンクリート技術協会 電 03-541-3595

第6回土木計画学シンポジウム

▶ 1月25日(火)～26日(水) ◀

今回のシンポジウムは、土木計画学の体系化への一環として、計画プロセスおよび評価システムの問題を主題とします。前回のシンポジウムにおいては、具体的な事例を対象として、土木事業の計画から運用に至るまでのプロセスを討論してきましたが、今回は、これらの討論結果をふまえて、現在、計画者がかかえている実際の諸問題を解明してゆこうとするものです。

具体的な進め方としては

- ① 第5回土木計画学シンポジウムのまとめ
- ② 計画プロセスのパネルディスカッション
- ③ 評価のための分析モデルについての討論

を行ないます。

なお、今回は2日間にわたり、討議に十分な時間をかけ、討議内容をおって発行するプロシーディングに収録致しますので、各位ふるってご参加願います。 土木計画学研究委員会

1. 期 日：1972年1月25日(火)～26日(水)
2. 時 間：9.30～17.00(両日とも・予定)
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目無番地/国電・地下鉄四ツ谷駅際外濠公園内
電話 03-351-5138 番)
4. 主 題：土木計画の評価システム・その2
5. 申込方法：参加希望者は、官製葉書に、①氏名、②所属官職名、③連絡先郵便番号・住所・所属・電話、④会員区分、⑤連絡事項、を記入のうえ、1971年12月末日までに下記あて申込んで下さい。おりかえし、参加票をお届けします。
6. 参加費：会員1500円、会員外2000円
ただし、前刷代および発行される「第6回土木計画学シンポジウム」(プロシーディング)の図書代を含みます。参加費は、当日「参加票」とあわせ受付にて徴収いたします。
7. 定 員：100名(一般・受付順)
8. 備 考：シンポジウムを要領よく進めるために、事前に「第5回土木計画学シンポジウム」(1971年8月発行)(定価900円・送料100円/会員特価800円・送料100円)をおめとおしいただきたい。

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階) 電話 011-251-7038 振替小樽 20603

(1) トンネル講習会

▶ 10月20日(水)～21日(木) ▶

1. 日 時：1971年10月20日(水)～21日(木) 2日間
2. 場 所：北海道建設会館9階大会議室・同大ホール(札幌市北4条西3丁目 電話 261-6181)
3. 受講料：会員1500円(テキスト代を含む)、一般2000円(テキスト代を含む)
4. テキスト：定価700円 会員特価500円
5. 講習時間割：10月20日(第1日)

9.20～	開会あいさつ	
① 9.30～10.30	トンネルの調査計画	国鉄札幌工事局技術管理課長 大田岐一郎
② 10.40～12.10	アーヌトンネルの施工計画について	国鉄札幌工事局技術次長 山本 強
③ 13.10～14.10	山岳トンネルの施工について	日本鉄道建設公団札幌支社工事第1課長 金子 英慈
④ 14.20～15.20	海底トンネルの施工について	日本鉄道建設公団青函トンネル建設局計画課長 土屋 敬
15.30～16.32	“映画”① 膨脹岩トンネル掘さくの記録(もみじ山線新登川トンネル)、 ② 強大な地圧との戦い(函館本線神威トンネル)	
- 10月21日(第2日)

⑤ 9.30～11.00	道路トンネルの計画と施工について	三井建設(株) 参事・札幌バイパス作業所長 大谷 光信
⑥ 11.10～12.10	都市(地下鉄)トンネルの施工について	大成建設(株) 地下鉄作業所工務主任 高橋 睦雄
12.20～	閉会のあいさつ	
6. 申込締切：1971年10月11日(月)
7. 定 員：100名
8. 申込方法：参加希望者は受講料をそえて支部事務局へお申込み下さい。

(2) 第3回見学会 (札幌地区)

▶ 10月22日(金) ◀

1. 期 日: 1971年10月22日(金)
2. 見 学 先: 札幌バイパス・札幌新道・千才, 札幌間高速自動車道
3. 参 加 費: 正会員 700円, 一般 1000円, 学生会員 500円, 一般学生 700円
4. 定 員: 50名
5. 申 込 締 切: 10月15日(先着順に締切ます)
6. 申 込 先: 土木学会北海道支部事務局 電話 251-7038 (札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階)
7. 集 合: 当日の8時40分までに, 大通テレビ塔北側へ
8. 出 発: 9.00~解散 17.00
9. そ の 他: ①乗物はバス ②雨天決行 ③昼食は主催者準備(無料) ④申込後の参加費は返金されない。

(3) 研究発表会論文集原稿募集

1. 原稿の内容: 土木工学・土木技術・工事報告文
2. 申 込 締 切: 1971年9月25日(土)
 - ① 発表件数に制限あり早目にお申込み下さい。② 期日に遅れたものは, 受理されない。
3. 申 込 要 領: 発表題名・発表者所属職名, 氏名をはがきで(電話不認)支部事務局へお申込み下さい。
 - ただちに, 支部制定の原稿用紙と執筆要領を急送します。
4. 原 稿 締 切: 1971年11月20日(土) この期日に遅れたものは, 受理されないので特に申し添えます。
 - (印刷進行の都合上)
5. 論文集刊行方法: "論文集第28号"として本印刷(発表期日の10日前に有料配布する)。
6. 発表会期日: 1972年2月25日(金)
7. 発表会場: 北海道建設会館9階3会場
8. 賞 : 応募された論文は, "支部奨励賞"の選考対象となります。

中部支部行事案内 (郵便番号 460 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 愛知県土木部道路建設課内 052-961-2111 内線 2430)

(1) 昭和46年度研究発表会

1. 日 時: 1971年11月12日(金)
2. 場 所: 金沢大学 教養部教室
3. 内 容: 土木工学・土木技術・工事報告

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地船場センタービル4号館) 電話 06-271-6686番 振替口座 大阪 82599番

(1) 講習会「工程管理の基礎」

▶ 11月16日(火) ◀

主 催: 土木学会関西支部

後 援: 大阪建設業協会・建設コンサルタンツ協会大阪支部・建設技術資料センター

本年度より当関西支部では, はじめての試みとして学術研究より遠ざかっておられる現場, 土木業務にたずさわる土木技術者を対象に, 斬新な研究や実務に役立つ解析手法等をテーマに, 基礎的かつ入門的に解説を加えて勉強して頂く講習会を行なうことになりました。

今年は近代の高度な技術革新に伴ってますます複雑化する建設工事の工程管理が, どうあるべきかということをテーマに選びました。関係各位の積極的なご参加を期待しております。

1. 日 時: 1971年11月16日(火) 9.20~16.20
2. 会 場: 大阪科学技術センター 4階401号室 電話大阪(06)443-5321番
大阪市西区靱1丁目118(地下鉄四ツ橋線本町下車北へ150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師:

9.20~9.30	閉会挨拶	土木学会関西支部長	田中 茂
9.30~10.45	① 建設工事における工程管理の位置づけ	(株) 奥村組技術研究所調査部長	河原畑良弘
10.45~12.00	② 工程の計画と管理	近畿地方建設局企画部技術管理課長	成田 久夫
13.15~14.30	③ オペレーショングラフと無線装置による工程管理	(株) 大林組幹線六甲工事事務所長	黒沢 寛男
14.45~16.15	④ ネットワーク手法の演習	京都大学工学部土木工学科助手	春名 攻
16.15~16.20	閉会挨拶	土木学会関西支部幹事長	後藤 尚男

4. 定 員: 160名 (先着順)

5. 参加費: 主催・後援学協会会員 1000円 (資料代を含む)

ただし講習会当日は 1500円となりますので期限内に前納して下さい。

非会員 1500円 (資料代を含む)

6. 申込期限: 1971年10月29日(金)

7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別(所属学協会名)を明記(様式随意)し, 上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(2) 講習会「最近の機械化施工の趨勢と問題点」 ▶ 12月2日(木) ◀

共 催: 土木学会関西支部・土質工学会関西支部・日本建設機械化協会関西支部

近代社会の発展に伴い, 今までに例をみない各種大規模工事, 特殊工事等の施工の必要が日々増大の傾向にあることは周知の事実であります。

この点にかんがみ学・協会三者が相寄り, これら機械化施工の業務にたざざる建設技術者ならびに機械技術者を対象とした標記の講習会を下記のとおり開催することになりました。奮ってご参加下さい。

記

1. 日 時: 1971年12月2日(木) 9.40~17.00

2. 会 場: 大阪科学技術センター 8階大ホール 電話大阪(06) 443-5321 番
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄四ツ橋線本町下車北へ150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師:

9.40~10.00	閉会挨拶	土木学会関西支部長	田中 茂
		土質工学会関西支部長	伊藤 富雄
		日本建設機械化協会関西支部長	柴田辰之進
10.00~10.50	① 建設機械の今後の動向	(株) 大林組技術研究所工法機械研究室長	斎藤 二郎
11.00~11.50	② 大規模土工と機械	日本国土開発(株) 研究部長	工博 伊丹 康夫
13.00~13.50	③ 公害防止基礎工法	阪神高速道路公団工務部設計課長	田井戸米好
14.00~14.50	④ 海中基礎施工機械	本州四国連絡橋公団設計第二部設計第三課長	工博 吉田 巖
15.00~15.50	⑤ トンネル施工機械	建設機械化研究所長	三谷 健
16.00~16.50	⑥ 施工時の測量方式と機器	京都大学助教授工学部	工博 森 忠次
16.50~17.00	閉会挨拶		

4. 定 員: 300名 (申込先着順)

5. 参加費: 共催学・協会会員 2000円 (テキスト代を含む)

ただし講習会当日は 3000円となりますので, 期限内に前納して下さい。

非会員 3000円 (テキスト代を含む)

6. 申込期限: 1971年11月15日(月)

7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別(所属学・協会名)を明記(様式随意)し, 上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。

納入された参加費の払いもどしはいたしませんのでご了承下さい。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(3) 有限要素法講習会 ▶ 10月13日(水)~19日(金) ◀

共 催: 日本材料学会・同関西支部, 協 賛: 土木学会関西支部, ほかに3学会

(第1部入門コース)

1. 期 日: 1971年10月13日(水), 14日(木), 15日(金) 9.30~

2. 会 場: 京都大学楽友会館 京都市左京区吉田近衛

3. 題目と講師:

第1日 午前・午後	① 連続体力学の基礎と有限要素法の基礎概念	阪大工 上田 幸雄
第2日および第3日午前	② 線形応力解析プログラムI	数値解析研 桜井 達美
	③ 線形応力解析プログラムII	大成建設 吉村 信敏
第3日午後	④ 有限要素法の実用	名大工 川本 隼万

4. 定 員: 70名

5. 参 加 料: 共催・協賛学会会員 10000円 非会員 13000円

6. テキスト: 各講師の配布資料

培風館発行 コンピュータによる 構造工学講座 I-1-B「有限要素法による構造解析プログラム」(当日会場でも頒布)

7. 申込期限: 1971年10月7日(木)

(第2部アドバンスドコース)

1. 期 日: 1971年11月17日(水), 18日(木), 19日(金) 9.30~

2. 会 場: 京都大学楽友会館 京都市左京区吉田近衛

3. 題目と講師:

第1日 午前	① 弾塑性解析(非線形解析)	阪大工 上田 幸雄
〃 午後	② 粘性解析	ユニック 川原 睦人
第2日 午前	③ 振動解析	京大工 山田 善一
〃 午後	④ 熱伝導および熱応力解析	京大工 井上 達雄
第3日 午前	⑤ 有限要素法における計算プログラム上の問題	京産大 戸川 隼人
〃 午後	⑥ 有限要素法の現状と将来	東大生研 川井 忠彦

4. 定 員: 70名

5. 参 加 料: 共催・協賛学会会員 10000円 非会員 13000円

6. テキスト: 各講師の配布資料

7. 申込期限: 1971年11月10日(水)

▶ 申 込 方 法: 参加ご希望の方は勤務先, 連絡先, 氏名およびコース名(第1部, 2部の別)等を記入のうえ上記各申込期限までに参加料を添えて次にお申し込み下さい。

▶ 申 込 先: 日本材料学会講習会係 電話京都(075)761-5321

(郵便番号 606) 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 振替口座 京都 26625 番

(4) 第1回見学会(和歌山地方見学会)

▶ 10月12日(火) ◀

1. 期 日: 1971年10月12日(火)

2. 見 学 先: 和歌山県和歌山港南港(木材港)および北港, 住友金属工業和歌山製鉄所

3. 集 合: 10月12日8時45分までに阪神電鉄本社前(大阪中央郵便局西入 国鉄大阪駅西南)

4. 行 程: 9.00 阪神電鉄本社前発—11.30 和歌山南港着, 見学 12.10 発—12.40 新和歌浦, 昼食 13.30 発—14.00 住友金属工業着, 見学, 15.30 和歌山北港見学 16.30 発—19.00 国鉄大阪駅着, 解散

5. 参 加 費: 1000円(昼食付)

6. 定 員: 50名(先着順)

7. 申込期限: 1971年9月27日(月)

8. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)のうえ参加費1000円を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(5) 第2回見学会(高浜原子力発電所建設工事見学会)

▶ 10月26日(火) ◀

1. 期 日: 1971年10月26日(火)

2. 見 学 先: 関西電力高浜原子力発電所建設工事 大飯原子力発電所工用道路橋下部工事

3. 集 合: 10月26日8時15分までに阪神電鉄本社前(大阪中央郵便局西入 国鉄大阪駅西南)

4. 行 程: 8.30 阪神電鉄本社前発—名神・161号・303号・27号—11.45 小浜着, 昼食 12.30 発—12.45 大飯原子力発電所道路橋下部工事見学 13.15 発—13.50 高浜原子力発電所建設工事見学 15.20 発—27号・9号・県道・阪神高速—19.00 国鉄大阪駅着, 解散

5. 参加費：1800円（昼食付）
6. 定員：50名（先着順）
7. 申込期限：1971年10月11日（月）
8. 申込方法：参加希望者は勤務先，連絡先および氏名を明記（様式随意）のうえ参加費1800円を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(6) 第1回学生見学会（中浜下水処理場，南港連絡橋下部工事見学会）

▶ 10月16日（土）◀

▶ 参加者資格：土木学会学生会員

ただし申込期限までに入会手続のすんだものおよび大学院学生の正会員も有効

▶ 参加費：300円

▶ 申込要領：参加希望者は学校名およびコース名（第1班，2班の別）を明記し，参加費300円を添えて各学校の学生班長を経由のうえ申込期限までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。
申込期限内に定員を超過したときは，**学校別に人員の割当て**をいたしますからお含みおき下さい。
学生班長は申込先順位番号を付けて一括申し込んで下さい。

1. 期 日：1971年10月16日（土）
2. 見学先：大阪市下水道局中浜下水処理場，阪神高速道路公団南港連絡橋下部工事
3. 集 合：（第1班）10月16日12時45分までに阪神電鉄本社前
（大阪中央郵便局西入 国鉄大阪駅西南）
（第2班）10月16日11時45分までに神戸大学土木工学教室前
4. 行 程：（第1班）13.00 阪神電鉄本社前発—14.00 中浜下水処理場着，見学 15.00 発—16.00 南港連絡橋着，見学 17.00 発—17.30 国鉄大阪駅着，解散
（第2班）12.00 神戸大学発—14.00 南港連絡橋着，見学 15.00 発—16.00 中浜下水処理場着，見学 17.00 発—19.00 阪急六甲着，解散
5. 定 員：第1班 100名，第2班 50名
6. 申込期限：1971年10月1日（金）

(付) テキスト頒布について

工程管理（演習問題解答付）	頒価 1800円	送料 150円							
工事の安全対策	” 1200円	” 120円							
写真測量とその応用	” 1400円	” 120円							
公害振動測定法（案）	” 無料	” 35円							
近畿開発と大型土木プロジェクト	” 700円	” 90円							
都市廃棄物の処理と処分	” 1000円	” 90円							
昭和46年度関西支部年次学術講演概要	<table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td>正会員 200円</td> <td>” 150円</td> </tr> <tr> <td>学生会員 100円</td> <td>” 150円</td> </tr> <tr> <td>非会員 700円</td> <td>150円</td> </tr> </table>		}	正会員 200円	” 150円	学生会員 100円	” 150円	非会員 700円	150円
}	正会員 200円	” 150円							
	学生会員 100円	” 150円							
	非会員 700円	150円							

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内

（郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号（自治会館内））
電話 0822-21-2666

(1) 「石灰による土質安定処理工法」の講習会

▶ 11月17日（水）◀

主 催：日本石灰協会土質安定処理委員会
協 賛：土木学会中国四国支部・土質工学会中国支部・日本材料学会土質安定材料委員会

1. 日 時：1971年11月17日（水） 9.30～17.00
2. 場 所：広島平和記念館講堂（広島市中島町1の1 電 0822-41-5246）
3. 内容と講師：

9.30～9.35 委員長あいさつ
9.35～10.40 石灰安定処理の基礎事項

谷 藤 正 三
京都大学教授 松 尾 新一郎

10.50~12.00	石灰安定処理のための調査試験	広島大学教授	網 干 寿 夫
13.00~14.10	石灰安定処理の計画と設計	中央大学教授	久 野 悟 郎
14.20~15.30	石灰安定処理の施工計画	日本道路公団広島建設局部長	大 杉 正 長
15.40~16.55	石灰安定処理の施工と品質管理	日本道路公団	近 藤 茂 夫
16.55~17.00	支部長あいさつ	土木学会中国四国支部長・土質工学支部長	巖 真 温

4. デキスト: 「石灰による土質安定処理工法」 A5 版 213 ページ
5. 聴 講 料: 2 000 円 (テキスト代を含む)
6. 定 員: 300 名
7. 申 込 方 法: 参加希望者は、勤務先、連絡先、氏名を明記の上、聴講料を添えて 1971 年 11 月 10 日 (水) までに下記へお申込み下さい。
8. 申 込 先: 日本石灰協会支部 郵便番号 530 大阪市北区梅田町 8 西阪神ビル 317 号
電 大 阪 (06) 341-7081 振替口座 大 阪 60712
あるいは上記各支部

(2) コンクリート講習会

▶ 10 月 29 日 (金) ◀

近年土木構造物の基本としてのコンクリート技術は進歩し、多様化、分業化が進み、いろいろ問題が提起されている。ここで、技術者のコンクリートに対する認識を新たにし、コンクリートの製造施工面での信頼性を高める意味からも、またコンクリートの技師や、主任技師として十分活躍できる知識を与えるために下記により講習会開催しますのでご希望の方はふるってご参加下さい。

1. 日 時: 1971 年 10 月 29 日 (金) 9.00~16.00
2. 場 所: 山口県農協会館講堂・電 (08397) 2-2211
山口県小郡町下郷 2139 国鉄小郡駅より徒歩 15 分
3. 講 習 内 容:

9.00~10.30	① コンクリート用材料の品質試験及び管理	④ 構造用セメントについて	小野田セメント	成 松 知 巳
10.30~12.00	同	⑤ コンクリート用骨材について	宇部興産	南 条 毅 一
13.00~14.00	② コンクリートの配合設計・製造及び品質管理		山口大学	加 賀 美 一 二 三
14.00~16.00	③ コンクリートの施工・諸性質及び関係法規 (JIS 等)		広島大学	船 越 稔
4. 参 加 費: 1 000 円 (テキスト代を含む)
5. 申 込 方 法: 住所・氏名・勤務先を明記のうえ、参加費を添えて上記支部事務局までお申込み下さい。

土木学会刊行物

- 土木材料実験指導書 44 年版 B5・134 頁 2 冊 53 枚 490 円 (〒 70 円)
- 土質実験指導書 45 年改版 B5・66 頁 2 冊 32 枚 340 円 (〒 70 円)
- 水理実験指導書 42 年版 B5・38 頁 2 冊 21 枚 250 円 (〒 70 円)
- 構造実験指導書 45 年版 B5・112 頁 2 冊 36 枚 450 円 (〒 70 円)
- 測量実習指導書 45 年版 新書・244 頁 折込付図 13 枚 450 円 (〒 80 円)

学校教材として一括購入される場合は特典がありますので刊行物係へご連絡下さい。